

〔大鏡〕よつぎがいふやう、世はいかにけうあるものぞや、さりともおきなこそ、せうくの事は
おぼえ侍らめ、むかしさかしき御門の御まつりごとのおりは、國のうちに年おいたる翁おむな
やあるとめしたづねて、いにしへのおきてのありさまをたづねとはしめ給てこそは、さうする
事をきこしめし合て、世のまつりごとは、おこなはしめ給ひけれ、さればおいたる身はいとかし
こきものに侍り、わかき人だちおぼしなあなづりそとて、○下略

〔今昔物語 三十一〕賀茂祭日一條大路立札見物翁物語第六

今昔加茂ノ祭ノ日、一條ト東ノ洞院トニ、曉ヨリ札立タリケリ、其ノ札ニ書タル様、此ハ翁ノ物見
ムズル所也、人不可立ズト、人其ノ札ヲ見テ、敢テ其ノ邊ニ不寄ズ、此ハ陽成院ノ物御覽ゼムトテ、
被立タル札ナリト皆人思テ、歩ノ人更ニ不寄ケリ、何況ヤ車ト云フ物ハ、其ノ札ノ當リニ不立ザ
リケルニ、漸ク事成ラムト爲ル程ニ見レバ、淺黄上下著タル翁出來テ、上下ヲ見上見下シテ、高扇
ヲ仕テ、其ノ札ノ許ニ立テ、靜ニ物ヲ見テ物渡リ畢ニケレバ返ヌ、然レバ人、陽成院ノ物可御覽カ
リケルニ、怪ク不御マサバリヌルハ、何ナル事ニテ不御覽ヌニカ、札ヲ立乍ラ不御マサバリヌル
怪キ事カナト、人口々ニ心得ズ云合タリケルニ、亦人ノ云フ様、此ノ物見ツル翁ノ氣色ハ怪カ
リツル者カナ、此奴ノ院ヨリ被立タル札ト人ニハ思ハセテ、此ノ翁ノ札ヲ立テ、我所得テ物見ム
トテ爲タルニヤ有ラムナド、様々ニ人云繚ケルニ、陽成院自然ラ此事ヲ聞シ食テケレバ、其翁慥
ニ召シテ問ヘト被仰ケレバ、其ノ翁ヲ被尋ケルニ、其ノ翁西ノ八條ノ刀禰ナリケル、然レバ院ヨ
リ下部ヲ遣シテ召ケレバ、翁參テケリ、院司承リテ、汝デ何かニ思テ院ヨリ被立タル札ト書テ、一
條ノ大路ニ札ヲ立テ人ヲ恐シテ、シタリ顔ニ物ハ見ケルゾト、其ノ由慥ニ申セト被問ケレバ、翁
申テ云ク、札ヲ立タル事ハ、翁ガ仕タル事也、但院ヨリ被立タル札トハ更ニ不書候ズ、翁既ニ年八
十二罷リ成ニタレバ、物見ム心モ不候ズ、其レニ孫ニ候フ男ノ今年藏司ノ小使ニテ罷リ渡リ候